

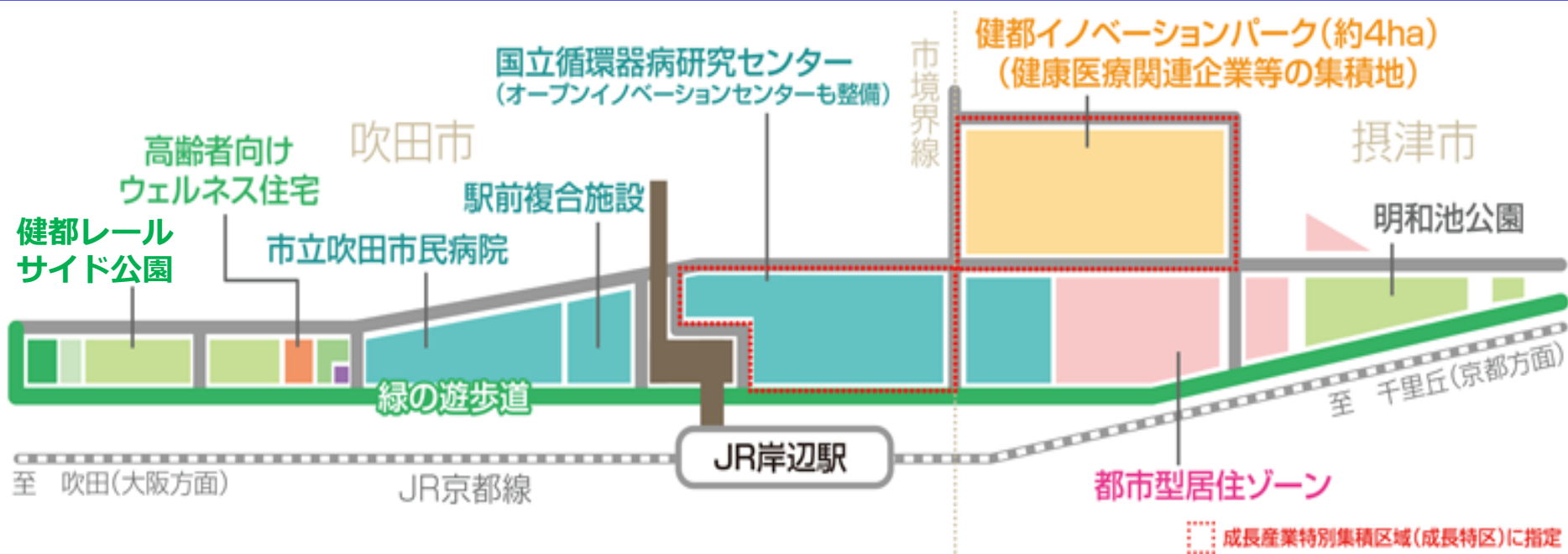
北大阪健康医療都市の取組について

- 1 北大阪健康医療都市（健都）のアウトライン
- 2 健都イノベーションパーク
- 3 健康レールサイド公園・健都ライブラリー
- 4 平成 31 年度健都グランドオープンイベント

1 北大阪健康医療都市（健都）のアウトライン

- 健都は、各ゾーンにおいて「健康・医療」の要素を散りばめた事業を展開。
- 相互に協力・連携・支援することで、まち全体として相乗的な付加価値の向上を目指す。

< JR東海道本線沿線で、総計約30haの大規模プロジェクト >



2017年度 (H29)

2018年度 (H30)

2019年度 (H31)

2020年度

2021年度

スケジュール

●2018春
レールサイド公園
Open

●2018.11~12
市民病院Open
駅ビルOpen

●2019.7
国循Open

●2019.12
ウェルネス住宅
順次入居開始

●2019年度中
健栄研 移転開始

●2020.11
ライブラリ
Open

●2021以降
ニプロOpen

2 健都イノベーションパーク

- 「健康と医療」をキーワードに、先端的な研究開発を行う企業等の研究施設を集積させ、国循を中心とする複合医療産業拠点の形成を目指す。
- フラグシップ企業としてニプロ株式会社を選定、平成30年9月土地売買契約締結（**2021年度以降、操業開始予定**）。
- 国立健康・栄養研究所の移転場所となるアライアンス棟整備・運営事業者募集を行ったが、該当者なしとなったため、現在、再度の公募に向けた諸方策について検討中。
- 残りの5区画は今後募集予定。（一部区画を除き土地売買契約）

今後の予定

【ニプロ株式会社】

- ・ 国循との共同開発の推進。
- ・ （仮称）イノベーション推進棟内にオープンラボ施設等を設置。**パートナーシップ企業やジョイントベンチャー企業に研究施設を開放**し、積極的な事業提携等を通じて事業領域の開拓、基盤構築を推進。
- ・ 地域企業等との連携による**医療産業セミナーの開催**。地域住民の健康寿命延伸に資するよう**各種講演会の開催を検討**。

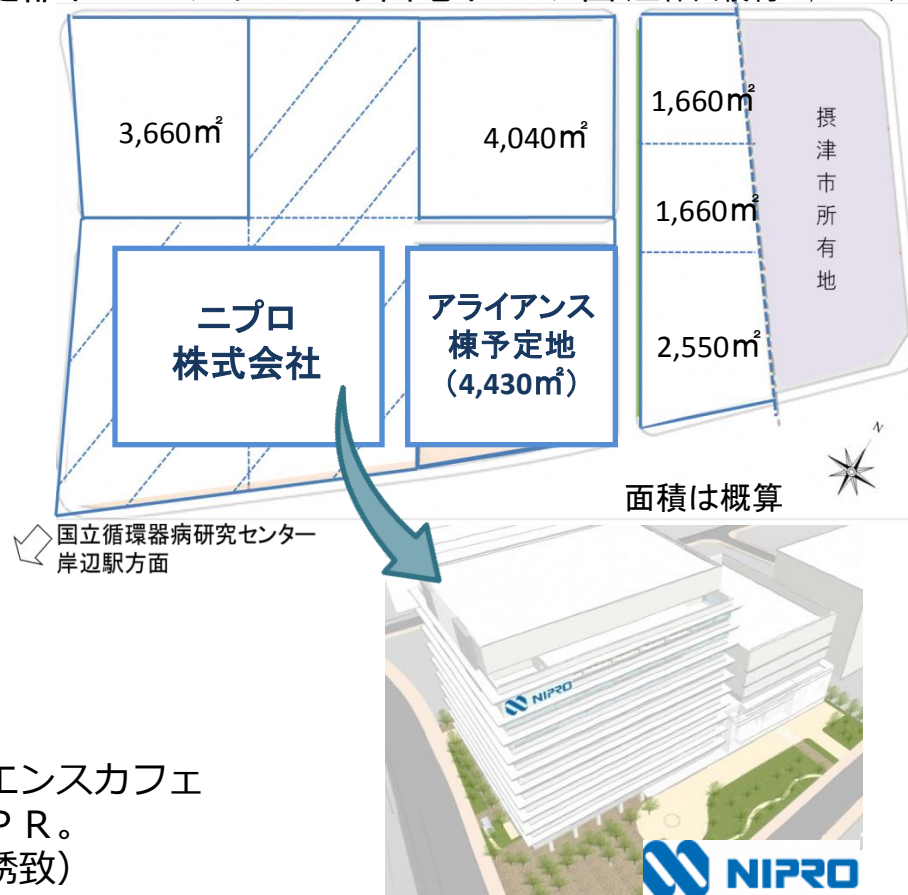
【アライアンス棟整備・運営事業者の募集】

- ・ 事業者説明会に参加した事業者へヒアリングを実施（事業採算性に対する指摘が多数）
- ・ この結果を受け、現在、大阪府、厚生労働省、健栄研、摂津市とともに再度の公募に向けた諸方策について検討中。

【残り区画の事業者募集】

- ・ 国循のオープンイノベーションラボ（研究拠点）やサイエンスカフェ（交流拠点）とも連携し、セミナーを活用しながら健都をPR。
- ・ 国循をはじめとした関係機関とともに事業者募集（企業誘致）に向けて検討。

健都イノベーションパーク画地イメージ図（全体面積約40,000㎡）

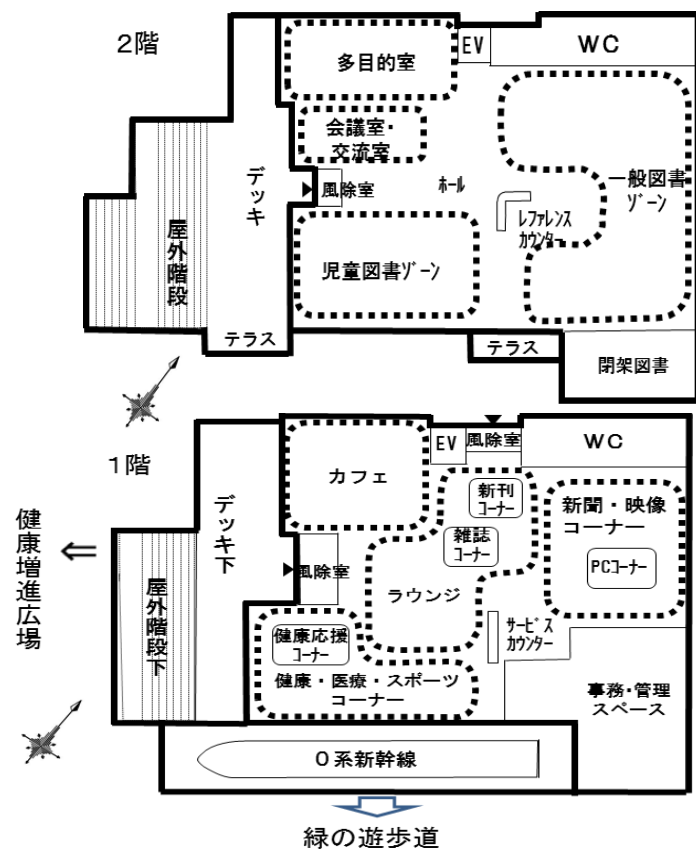


（鳥瞰パースイメージ）

3 健都レールサイド公園・健都ライブラリー

(1) 目的及び施設概要

健都レールサイド公園及び健都ライブラリーは、健康に ①気づき②楽しみ③学べる をコンセプトに、多世代交流及び市民の健康づくりの継続的な取組を進めることで健康寿命の延伸につながる場として整備。



(2) 一体的な管理・運営の方法

両施設を一体的に活用(運営)するため、一部を除き指定管理者制度による管理運営を進めます。

指定管理者制度導入のため、下記条例の新設及び改正を実施

【吹田市健都レールサイド公園管理運営条例】<新設>

- 公園管理のベースは都市公園法・都市公園条例
- 健康増進事業等の実施、指定管理者制度の導入のため、都市公園条例の上乗せ条例として制定。

【吹田市立図書館条例】<一部改正>

- 本来の図書館の目的のほか、健都レールサイド公園で行う事業と連携した事業を行い健康寿命の延伸に資するという目的を追加的に規定。
- 「健都ライブラリー」の指定管理者制度導入のための規定を新設。
- 公園と連携した事業の実施や施設管理等については指定管理者に事務・権限を委譲するが、図書館の本来業務(蔵書管理、レファレンス機能など)については引き続き市が担う。

- ★事業者選定手続きを一括実施することで、同一の指定管理者を選定
- ★運営に当たっては、公園・図書館の窓口を指定管理者に一本化



利用者にとっても一体的な運用を実感できる管理運営を目指す。

【市が担う事業】

専門的要素が高く、長期にわたって継続、蓄積が必要な図書館司書業務など指定管理者に委ねられないものなどは市が直接行います。

- 1 健康づくり等のソフト施策（既存の健康づくり事業）
- 2 図書館業務（選書、レファレンス業務等）
- 3 公園業務（公園施設設置管理許可等）

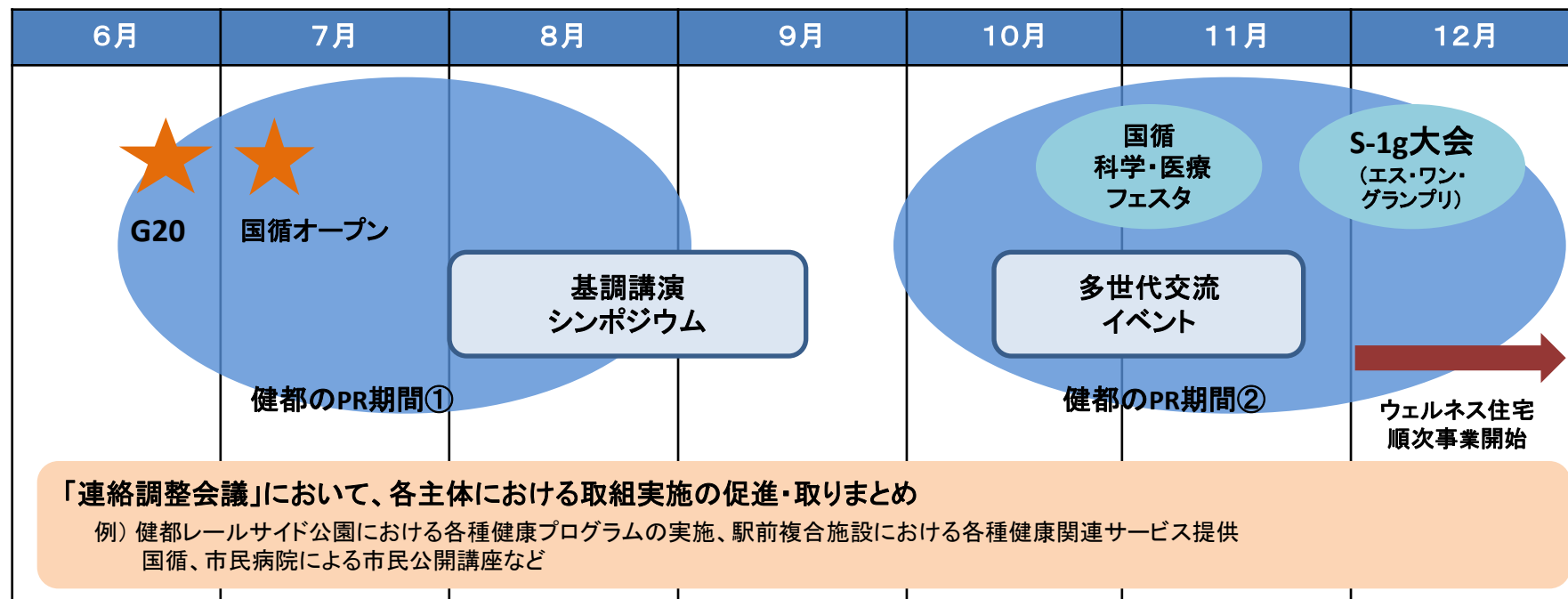
【指定管理者が担う事業】

民間の専門的な知識を活かし、効率的かつ効果的な運営を指定管理により行い、市民サービスの向上を目指す。

- 1 健康づくり等のソフト施策
(指定管理者に求める取組イメージ)
 - ・ 公園と図書館を一体的に活用した健康増進事業
 - ・ 多世代交流イベント等の利用促進事業
 - ・ 健康づくりアドバイザー等、受付相談業務
 - ・ ホームページ等の啓発広報事業
 - ・ 独自提案の自主事業
- 2 図書館業務（窓口業務、建物の維持管理等）
- 3 公園業務（公園施設の維持管理等）

4 平成31年度健都グランドオープンイベント

- 平成31年7月には国立循環器病研究センターのオープンが控えており、健都のまちのもう一つの大きな節目を迎えることになる。その直前の6月末には「G20サミット首脳会議」が大阪市内で開催され、健都についても首脳陣等の視察先としてエントリー（申請）をしているところ。
- 更に、同年秋から冬にかけては、「国循 科学・医療フェスタ」や「S-1g大会（（エス・ワン・グランプリ）」の開催が予定されるとともに、ウェルネス住宅についても事業を順次開始していく。
- このように、平成31年度の①国循オープン前後、②秋～冬頃の期間は、健都に市内外からの注目が集まり、まちをPRする絶好の機会であることを踏まえ、健都関係者が参加する「北大阪健康医療都市連絡調整会議」において、健都としてのまとまりを持った取組を実施する予定。



※ 国循 科学・医療フェスタ：循環器病予防の啓発、研究成果の公開、地域への貢献等を目的に、「講演」「体験」「展示」で構成するイベント。

※ S-1g大会(エス・ワン・グランプリ)：循環器病の予防や地産地消・地域振興をめざし、各地の美味しい減塩食を発掘するレシピコンテスト。「S-1g」とは、塩(Salt)を1g減らそう(-1g)の意味で、国民が塩分摂取量を1食1g×3食分減らすと、血圧が2～3mmHg下がり、循環器病による死亡を2～3万人減らすことができるといわれている。